

分類	委員からの主な意見	意見に対する対応	区域図・地域整備方針への反映
エリア	他都市と比べてエリアが広い。エリアをより広く指定したい場合は、飛び地についても検討すべき。	区域図について、次のとおり修正する ①基本的に道路中心線を通す ②旧マリア園付近を区域から除外 ③松が枝は既存の土地を指定 ④事業区別の修正	資料3参照
連携	目標実現に向けた手段という位置づけであれば、産官学金の連携といった地域プラットフォームに係る記述を加えてもよいのではないか。	本方針の目標実現には、産学官金で連携し、重要な案件の検討・推進が必要と考えられるため、意見をふまえ追記する。	【地域整備方針・整備の目標】 ・その中で、 産学官金で連携を図りながら まちの新たな拠点や、新しいライフスタイル、ビジネススタイルの構築、中心商店街の再生や多様で魅力ある都市機能を形成することで、雇用環境や楽しむ場の充実、暮らしやすい環境の実現などにより、人々から選ばれるまちを目指し、人口流出の抑制や人口流入の促進を図る。…① 【緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項】 ・ 多様な関係者が連携し 、都市の魅力や来訪者の受け入れ態勢を強化することで、交流人口の拡大による、観光産業の活性化…②
防災	エリアがハザードマップとも重なっていないのであれば、安全・安心な「住環境」だけでなく、「オフィス環境」も、記載しておくべき エリアとハザードマップとの関係を確認すること。もし重なっていた場合は、その対策の必要性について記載する必要がある IT産業は水に弱いので、河川の整備を項出ししてはどうか（地域整備方針の「道路や公園等の整備」の「等」に含まれていれば良い）	長崎市中島川洪水ハザードマップの浸水想定区域とエリアが一部重なっており、長崎市としても防災性を高める整備を推進する考えなのでその旨記載する。	【地域整備方針・都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項】 ・ 防災機能を高める事業の推進…③ 【公共施設その他の公益的施設の整備及び管理に関する基本的事項】 ・ 安全・安心な生活に向けた都市防災施設の整備…④ 【緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項】 ・安全・安心で快適な暮らしの継続に向けて、都市機能の集約化促進及び防災意識の向上により、 都市防災性の向上…⑤
観光	「インフォメーション機能の充実を図り、来訪者への情報発信を行う」について、「国内外」を追記しては	意見をふまえ、地域整備方針に追記する。	【地域整備方針・緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項】 ・インフォメーション機能の充実を図り、 国内外の来訪者への情報発信…⑥
交通	新幹線の開業と同時に長距離バスの需要も高まるので、バスターミナルが非常に重要となる。バスターミナルを核とした周辺一帯の再開発といったことも視野に入れながらまちづくりをすすめるべき。 路面電車は長崎市民の足であると同時に、観光客にとっても優しい乗り物である。全国で路面電車の注目は高く、長崎にとっても地域の宝でないか。各地区を直通で結ぶ路線再編やバスターミナルとの連携など、路面電車の利便性を高める施策が必要である。 バスターミナルについて、新幹線の整備やまちづくり観点を踏まえて、必要性を検討していただきたい 「路面電車など、公共交通の利便性の向上における移動の円滑化を促進」の部分について、現状は観光客に優しくないという声を多く聞き、そう感じる。再開発にあたっては、ハード・ソフトの両面からこの点の改善に取り組んで欲しい。	バスターミナルとの連携等も検討しながら、公共交通の連携・結節強化に取り組み、公共交通の利便性を向上を図る考えなので、意見をふまえて追記する。また、公共交通の連携・結節機能の強化には、ハードだけでなく、ソフト的な取り組みも進めていく考えのもと、記載項目はそれを含めた表現となっている。	【地域整備方針・緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項】 ・ MaaSの活用や交通結節機能の整備等により、鉄道や路面電車、バス等、公共交通の連携を強化し、利便性の向上、移動円滑化の促進…⑦

分類	委員からの主な意見	意見に対する対応	区域図・地域整備方針への反映
再開発	<p>国道34号沿線内でも、県警跡地を使いながら玉突き再開発を進めてはどうか。小規模であるが、地方の都市再生のモデルケースとなるのではないか。</p>	<p>公共空地の活用も建物の建替え誘導の1つとして想定できるため意見を反映する。再開発等の具体的な内容については今後の都市再生の中で議論していく。</p>	<p>【地域整備方針・緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項】 ・公共空地の活用や容積率の割増等により、施設更新時期を迎える建物の建替を誘導し、魅力的な商業の拠点施設や居住施設、憩いの空間等の創出…⑧</p>
楽しむ場	<p>長崎の魅力の一つであるマリレジャーが安くて魅力的なのに売りになっていない。長崎に来た方が長崎の海で遊ぶ提案、まちづくりをしても良いのでは</p>	<p>区域内の市街地の整備としての記載は難しいが、大事な視点でもあり、周辺の対象施設への誘導等、情報の発信に努めたい。</p>	<p>修正なし</p>
整備の目標	<p>「海の玄関口である松が枝周辺」と記載されているが、海の玄関口が松が枝周辺のみと呼んでしまうのでは。</p>	<p>長崎の都市再生の方向性となっている「国際観光文化都市長崎の再生」を前提に記載しているため、長崎における「海の国際ゲートウェイ」である松が枝周辺を「海の玄関口」として表現している。</p>	<p>修正なし</p>
	<p>「整備の目標」に、まちなかエリアと中央エリアの相互の連携という記述があるが、整備方針としては具体的に書かれていないように思われる。 例えば中央エリアでの都市更新を活性化することで軸を形成し回遊性を高めるなど、空間ビジョンを提示する記述があってもよいのではないか。</p>	<p>各エリア間の連携について、都市再生重点4エリアの整備計画の内容をふまえ修正する。</p>	<p>【地域整備方針・公共施設その他の公益的施設の整備及び管理に関する基本的事項】 ・魅力あるまちなみや賑わいの連続性による回遊性の向上…⑨</p>
長崎のまちづくり	<p>斜面地の魅力を高めるのと同時に、平地部においては、小規模な身の丈再開発を進めてはどうか。地区によっては、所定の容積率を使い切らず、持て余しているところもあるだろう。使い切れていない容積率を長崎駅前や県警跡地などに容積移転し、象徴的な開発を進めてはどうか。</p>	<p>民間事業者に限らず都市利用の促進を図るため、地区の状況や社会情勢をみながら最適な容積率の指定や適正な用途の見直しに随時取り組む考えなので、修正する。 また、今後の都市再生の中でエリア間の連携等に関する具体的な内容について議論していく。</p>	<p>【地域整備方針・緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項】 ・用途地域の見直し等により、土地利用の転換の促進…⑩</p>
	<p>元船地区の再開発をよく検討したほうがいい。貨物埠頭がまちなかにある必然性はなく、用途を見直した方がいい。埠頭の外周に低層マンションを、埠頭内側に高層オフィス、商業などを設置してはどうか。 長崎駅から始まり県庁舎周辺、元船地区、水辺の森公園と3地区の連携を強化し、都市としての魅力を高めることが必要でないか。</p>		
	<p>都市としての魅力を高めるため、坂を活かしたまちづくりを進めるべき。平地部から斜面地へエスカレーター等を戦略的に配置し、斜面中腹にこれらのエスカレーターを結ぶ道路を設置。エスカレーターの先には、子育てや観光などの拠点施設を設置してはどうか。</p>	<p>斜面地の住環境改善は別の取り組みの中で議論していきたい。</p>	<p>修正なし</p>

分類	委員からの主な意見	意見に対する対応	区域図・地域整備方針への反映
雇用	<p>大学（情報系）の卒業・開講やBCP対応を目的とした企業の誘致等、長崎の雇用の創出に追い風となる部分なので表現しておくべき</p>	<p>雇用の促進による長崎への人口の定着・流入は、都市再生緊急整備地域を指定する目的の1つであるため、意見のような背景を踏まえた内容に修正する。</p>	<p>【地域整備方針・緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項】 ・長崎の強みを活かして、国内外から魅力的な企業の立地誘導を促進し、地域経済の振興、新規雇用の創出の促進…⑪</p>
	<p>第1回資料の転出者アンケートの結果をみると、能力を生かせる仕事なかった、起業したいができなかった、といった回答も少なからず見られる。「都市の魅力」として、イノベーションや創造性を生む都市環境づくり、といった視点があってもよいのではないか。</p>		
	<p>「魅力的な企業の立地誘導を促し、地域経済の振興、新規雇用の創出を促進」について、昨今長崎はよいニュースが続いており（三菱航空機エンジン進出、IT開発拠点進出（日経10/18））、引き続き商工関連施策や人材育成施策と一体となって整備に取り組んで欲しい。</p>		
近未来	<p>自動運転等、近未来技術の発展を見据えて、10年、20年後のまちづくりを考えていく観点が重要だが、現時点の案では弱い</p>	<p>都市の魅力強化には近未来技術の活用も視野にいれる必要がある。</p>	<p>【緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項】 ・近未来技術の活用による都市の魅力の強化…⑫</p>
	<p>自動運転の話があったが、今の時点で考えておく必要はないのでは</p>		
	<p>若い人たちを引きつけるようなワクワクするような言葉（society 5.0、スマートシティ、MaaS等）が使えないか</p>		
全体	<p>民間の事業スピードが早いので、現在の方針やエリア、その他事業とのギャップがでてしまう可能性があるので、情報を迅速に集めて落とし込んでいくべき</p>	<p>社会情勢の変化等、必要に応じて更新していく。</p>	<p>修正なし</p>
	<p>ハードに重点を置いた表現が多いので、ソフトに重点を置いた表現が必要では</p>	<p>右記の記載のとおり、ハードだけでなくソフト的な取り組みを含めた内容で本方針では表現している。</p>	<p>修正なし ソフト的な取り組みを含めた記載（例）は以下のとおりです。 【地域整備方針・緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項】 ・多様な関係者が連携し、都市の魅力や来訪者の受け入れ態勢を強化することで、交流人口の拡大による、観光産業の活性化…② ・インフォメーション機能の充実を図り、国内外の来訪者への情報発信…⑥ ・MaaSの活用や交通結節機能の整備等により、鉄道や路面電車、バス等、公共交通の連携を強化し、利便性の向上、移動の円滑化を促進…⑦</p>
	<p>地域整備方針（素案）（特に「緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項」）には、もう少し具体性があってもよいのではないか。</p>	<p>整備目標に寄与する幅広い民間事業の活性化を図るため、記載事項は包括的な表現にしている。</p>	<p>修正なし</p>